

## 今年度の全校研究について

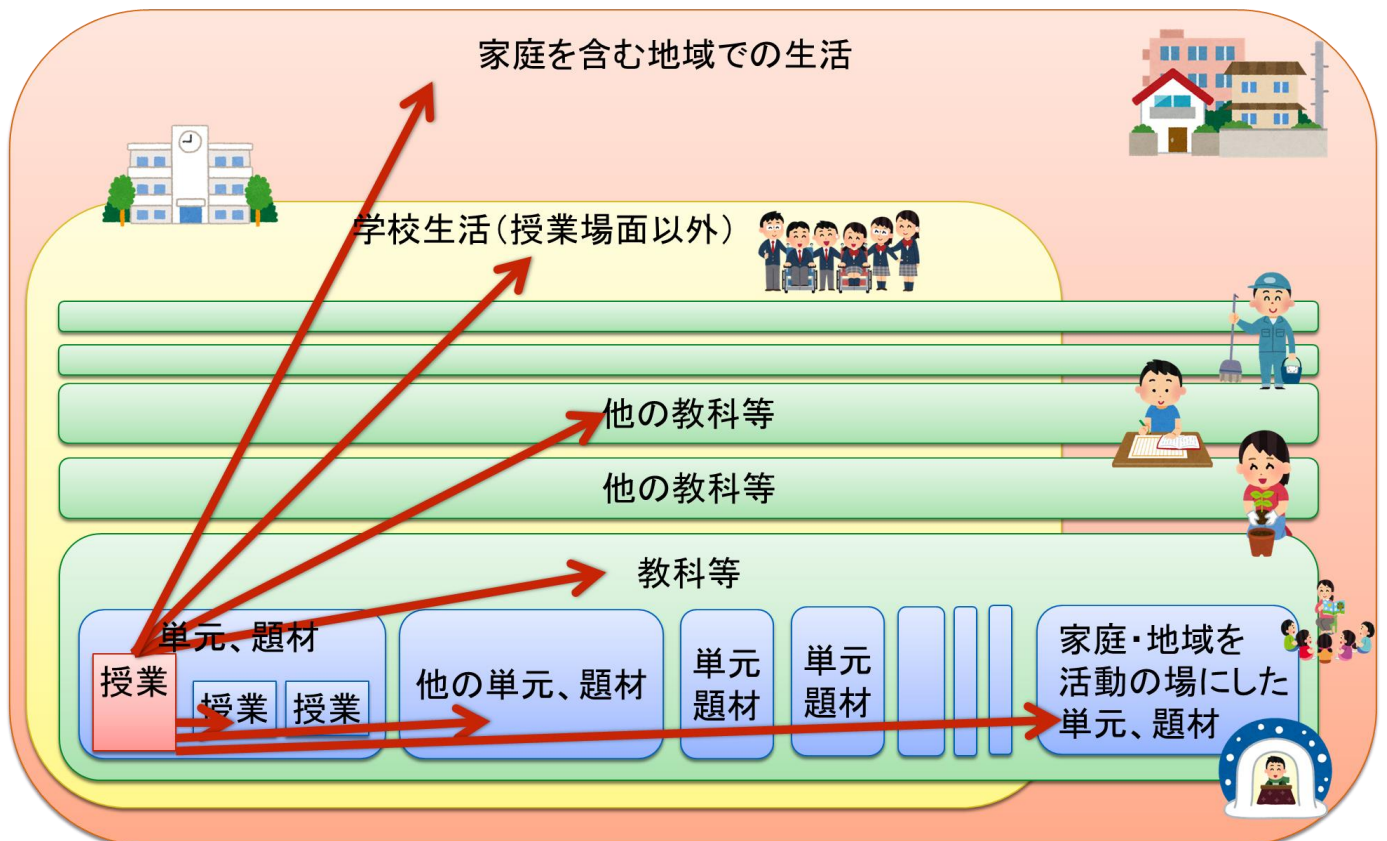
研究部主任 大川 浩平

### 【研究主題】

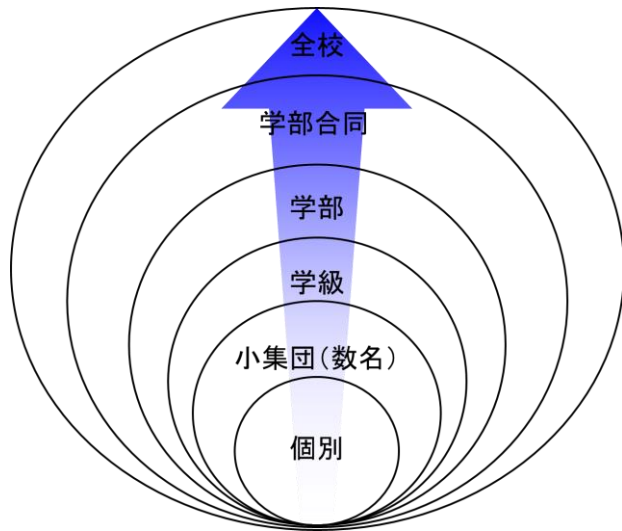
様々な場面で学びを生かすことを目指した授業づくり  
～「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた教科等の授業改善を通して～  
(1年次/2か年)

本校では、上記の研究主題を設定し、2年計画での研究を推進しています。今年度は、小学部が生活単元学習、中学部が職業・家庭科、高等部が家庭科を研究対象として取り上げ、児童生徒が様々な場面で学びを活用することができるように、集団や活動場所の広がりを意識した段階的で連続性のある指導計画の作成と「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりに取り組んでいます。

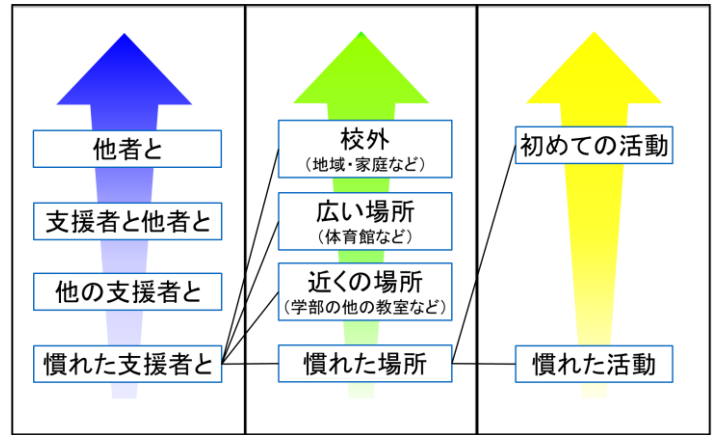
「様々な場面」を以下の図のように、細分化して考え、確実な学びの定着と般化につながる学びの活用を目指した授業づくりを行っています。



学習活動の広がり



集団の広がり



参加の広がり

## ～主な取組の内容～

### ○段階的で連続性のある指導計画の作成

段階的で連続性のある学習が展開できるように、小学部においては生活科の目標・内容を押さえた年間指導計画の作成を行いました。中学部、高等部においては昨年度作成した指導内容系統表を活用した年間指導計画の作成を行いました。それぞれの学部において、定期的に「指導内容検討会」をもち、指導内容の検証と改善を行っています。

### ○授業改善コーディネーターを活用した単元構想会の実施

各学習グループにおいて「主体的・対話的で深い学び」の実現を見通した単元計画、学びの活用の広がりなどをポイントにした単元構想図を作成しています。単元構想図を基に目標や活動内容の妥当性、単元実施に向けた具体的な手立てなどについて授業改善コーディネーターを交えて単元構想会をもち、検討を行っています。

### ○「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業研究会の実施

学習指導案については、育成を目指す資質・能力の評価の観点や「主体的・対話的で深い学び」の手立てや評価を盛り込んだ様式にしています。また、「主体的・対話的で深い学び」を、授業づくりの重点として設定するとともに、研究協議の視点として位置付け成果や改善点を検討しています。

## 横手支援学校公開研究会のご案内

- 1 期 日 平成30年11月28日(水)
- 2 場 所 秋田県立横手支援学校
- 3 公開授業 小学部6年 生活単元学習  
 中学部3年 職業・家庭科  
 高等部2年 家庭科



※申し込みや詳細につきましては、2次案内をご覧ください。